

滋賀県高島市 社団法人びわ湖高島観光協会

<http://www.takashima-kanko.jp/>

問合せ先

窓口名：社団法人びわ湖高島観光協会
住所：滋賀県高島市新旭町藁園 2607
TEL：0740-22-6111 FAX：0740-22-6113
E-mail：biwako@takashima-kanko.jp

アクセス

最寄りの都市：大津市
集合場所：高島市マキノ町 マキノ高原駐車場
車の場合：80分



受入概要

森と里と湖の豊かな自然に囲まれた高島市。特に従来から小中学校の受入実績のあったマキノ地域のほぼ全域を利用し、「研修ゾーン」「野外活動ゾーン」「湖岸ゾーン」「農作物観察ゾーン」および「民宿村」の5つから成り立つ体験事業を提案している。各ゾーンはサイクリング道路などで結ばれている。さらに旧6町村が合併したことにより、活動範囲、体験活動施設、宿泊施設も大きく広がり、実施目的、予算、時期等に合致するプログラムやモデルコースなどが紹介できるようになった。日ごろ都会では学習できない体験が充実している。「人と自然のおもてなし」をキーワードに、受入を行っている。



梅津の石積み

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

高島市は、滋賀県の北西部に位置し、本市東部は琵琶湖に、南西部は比良山地を境に大津市および京都市に、北西部は野坂山地を境に福井県に接している。冬季には積雪量の多い日本海型気候である。本市は古来より京都・奈良の都と北陸を結ぶ交通の要衝として栄え、現在も幹線道路として国道161号、303号、367号が通っている。

市内には、水源から里地湖岸へと続く日本の原風景ともいえる豊かな自然資源が存在している。その自然資源と地域の歴史的風土の中で培われてきた地域の暮らしや生業が今も受け継がれている。また、それらを活用した取組みが平成16年に環境省より環境保全と観光振興の両立を目指すエコツーリズム普及のためのモデル地区として、全国13箇所の一つとして選定された。さらに12箇所もの日本の「百選」に選定された景勝地をもつ地域である。

また平成17年の高島市誕生とともに、旧町村が持ち合わせていた、太平洋側と日本海側に注ぎ込む中央分水嶺を活用した「中央分水嶺高島トレイル」は、植生の豊かさと日本海、琵琶湖を望む眺望の素晴らしさにより、多くの自然愛好家で賑わっている。

歴史・文化的な特色

高島市には、琵琶湖や里山と共存する中で育まれたその土地独特の豊かな景観が数多く残されている。豊富な湧き水を利用した「かばた」、集落の中をめぐる水路、山間部に広がる棚田などは全国的に注目を浴びている。人々の生活と地域の風土により形成された「文化的景観」。平成20年には、高島市マキノ町の「高島市海津・西浜・知内の水辺景観」として、全国で7箇所目の国の重要文化的景観に選定されるなど、日々の生活に根ざした景観が、今も引き継がれ、次世代にも継承されようとしている。

農林水産業の特色

農林漁業の振興による美しい里山の環境保全を維持するため、また、効率的・安定的な経営体の育成と担い手の確保を図るため、従来の生産力向上のみにとらわれない多角経営基盤の強化に取り組んでいる。特に、水源の森から里地、里山で受け継がれてきた農林漁業を生かした環境教育、生業体験を中心とした交流事業への展開を行っている。

また、当地の豊かな自然資源と調和した安心で安全な農林水産品の生産による地域ブランド化に取り組んでおり、地産地消の促進を図るため交流事業への取り組みをしている。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家民宿	ホテル・旅館	公設の宿泊施設
軒数	10	34	6	4
最大宿泊可能人数	30	1638	1120	539
料金	6000円～	5250円～	7500円～	4500円～

おすすめ体験学習プログラム

果物狩り（所要時間 120 分・農業体験）

【期間】

6 月 ～ 10 月まで。

備考：要事前相談

【内容】

初夏から秋にかけてさくらんぼやブルーベリー、ぶどうやリンゴ、そして大きなピックランドの栗などのもぎ取りが体験できる。

漁業体験（所要時間 120 分・漁業体験）

【期間】

6 月 ～ 9 月まで

備考：要事前相談

【内容】

琵琶湖にて、投網体験やえり漁の見学、また外来魚釣りなど季節や団体に応じた体験ができる。

扇子絵付け体験（所要時間 90 分・その他）

【期間】

通年

【内容】

地元の伝統工芸品の代表ともいえる扇子（せんす）について、地元の職人の話を聞き、背景を知ることができる。（全国の扇骨の 90% シェアを占める。）絵付け体験し、オリジナルの扇子作りを行う。後日、出来あがったものが送られる。（送料は別途必要）

びわ湖クルーズ（所要時間 90 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

琵琶湖を体感しながら、あらゆる生物にとって欠かすことのできない「水」をテーマにした環境学習や琵琶湖の外来魚問題から地球の生態系保護について学ぶことができる。



受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	-	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	森里湖（もりっこ） 自然体験学習 プラン	実施時期	通年
ねらい	高島市の豊かな自然環境を生かした体験学習や農林漁業体験を通して、環境保全の大切さを学ぶ。また、農林漁業に従事する家庭での異世代交流、集団活動、規則正しい生活を行うことにより、場に応じた適切な行動や、人へ思いやりをもった行動ができる「生きる力」を養う。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1 日目	午前	現地まで移動	
	午後	入村式 自然体験活動①	挨拶・自己紹介・当地域に関する情報交換。サイクリングによる地域内視察・施設見学。
	宿泊	農林漁家民宿	対面式。夕食後キャンプファイヤー・星空観察会・日記作成。
2 日目	午前	林業体験学習（森）	公認ガイド引率による低山トレッキング（冬季にはスノーシュー体験・歩くスキー等）。古道として使われてきた過去、琵琶湖の水源地で森での歴史・環境・自然学習。
	午後	林業体験学習（森）	林業体験（間伐）、高山動植物観察等。
	宿泊	農林漁家民宿	民宿の皆さんとの懇談会。日記作成。
3 日目	午前	農業体験学習（里）	受入民宿先での田植え体験、田んぼ周辺での動植物観察
	午後	農業体験学習（里）	果物狩り、夕食食材収穫（畑）
	宿泊	農林漁家民宿	飯盒炊さん・民宿へのお礼検討・日記作成
4 日目	午前	農林漁家民宿とのお別れ	朝食・清掃・民宿へのお礼、農林漁家とのお別れ会
	午後	漁業体験学習（湖）	漁師の指導による投網体験・エリ漁見学、カヤック体験・外来魚釣り
	宿泊	民間宿泊施設	テーブルマナー体験・農林漁家での学習取りまとめ
5 日目	午前	琵琶湖クルーズ	船内で琵琶湖の環境学習、森(2日目)・里(3日目)・湖(4日目) 水の流れに沿った生活文化学習（復習）
	午後	学校まで移動	

滋賀県日野町 三方よし！近江日野田舎体験推進協議会

<http://www.omi-hino.jp/>

問合せ先

窓口名：日野町役場 商工観光課
住所：滋賀県日野町河原一丁目1番地
TEL：0748-52-6562 FAX：0748-52-2043
E-mail：inakataiken@omi-hino.jp

アクセス

最寄りの都市：大津市
集合場所：滋賀県蒲生郡日野町 日野町役場駐車場
車の場合：60分



受入概要

「売り手よし 買い手よし 世間よし」の近江商人の精神を手本として、「売り手＝迎えるもの」には地域資源に対する自信と誇りの回復を、「買い手＝来るもの」にはほんもの体験を通じた心からの感動を、「世間＝地域」には人が輝く人的、経済的活性化をもたらす「三方よし！近江日野“田舎体験”の実現に向けて、人と自然、農林商工業、生活文化等の地域資源をテーマにした地域の活性化に寄与することを目的としている。

農林業を含めた生活文化を脈々と受け継いできた「人」を日野町の地域資源ととらえ、農家民泊や様々な体験プログラムを通して、近江日野の田舎体験の魅力を発信している。



ホンシャクナゲ

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

日野町は、琵琶湖の東南部、鈴鹿山系の西麓に位置し、霊峰綿向山を東に眺む花と緑にあふれる自然豊かな町である。面積は117.62k㎡、地形は、東部山岳地帯の主峰綿向山(海拔1,110m)から西部の海拔200m至る起伏の多い地域。水系は、日野川、佐久良川が主流として流れ、東近江市蒲生町で合流し、琵琶湖に注いでいる気候は、東日本瀬戸内海気候に属しているが、琵琶湖沿岸より気温は低く、年間平均気温は13.9℃、年間降雨量は1,421mmで、やや内陸性の気候である。

霊峰綿向山は、気軽に登れる山として大変人気があり、中部圏、近畿圏から多くの登山者が訪れる。冬には樹氷も見られる。山の麓には里が拓け、集落の周辺には田園がひろがっており、のどかな田園風景が広がっている。滋賀県にある国指定天然記念物13のうち、実に5つが日野町に存在する(綿向山麓の接触変質地帯、鎌掛谷ホンシャクナゲ群落、熊野のヒダリマキガヤ、別所高師小僧、鎌掛の屏風岩)。

歴史・文化的な特色

正明寺本堂など国指定有形文化財が14点、近江中山の芋競べ祭りは、国指定無形民俗文化財に指定されている。800年の歴史を誇る馬見岡綿向神社の春の例大祭「日野祭」は、県指定有形文化財に指定されている。この他に、県指定文化財を9点有する。

中世、日野を城下町として整備した蒲生氏、また、蒲生氏の保護を受けて栄えた近江日野商人によって、貴重な建造物、日野祭を見るためだけに設けられた棧敷窓など、特色ある町並みが形成されている。

農林水産業の特色

【農業】日野町では、日野側と佐久良川に開ける農地1,637haを古くから水稻単作経営と酪農経営、北山茶、日野菜を中心とする個別完結型の農業生産が展開されてきた。

【林業】日野町の総面積は117.63k㎡であり、森林面積は6,127haで総面積の52.1%を占めている。町内の森林は全て民有林であり、うち97.6%は個人有林。また、人工林面積は1,656haであり人工林率は28.0%で、年齢別で見ると、7年齢以下要保育対象林分が11.8%、樹種別の面積割合はヒノキが17%、スギが10%、マツが50%となっている。蓄積は965,000m³であり、1ha当たりの蓄積は157m³。東部山岳地帯を中心として、綿向生産森林組合など4つの生産森林組合による保育施策が行われている。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家民宿	ホテル・旅館	その他
軒数	150	22	3	1
最大宿泊可能人数	600	88	150	48
料金	7350円	7350円	5000円-10000円	12000円-36000円

おすすめ体験学習プログラム

原産日野菜体験（所要時間 240 分・農業体験）

【期間】

9月上旬～11月中旬まで

【内容】

日野町原産の日野菜の栽培のうち、播種、間引き、草むしり、収穫などの作業を体験する。

郷土料理・伝承料理（所要時間 210 分・食の体験）

【期間】

通年

【内容】

日野菜漬け、鮎寿司や鯖寿司など郷土料理、伝承料理づくりを通して、農村の食文化にふれ、豊かな農村の生活を体験する。

森林間伐体験（所要時間 240 分・林業体験）

【期間】

10月下旬～3月下旬まで

【内容】

日野町の面積 117.62K㎡のうち 52.4% を森林が占めている。人工林の間伐作業、枝打ち作業などを体験するとともに、森林の果たしている役割と林業経営の実態を学ぶ。



森林間伐体験

森の教室（所要時間 120 分・クラフト体験）

【期間】

通年

【内容】

自然の素材、木の実や枝などを使い、思い思いに木工クラフトを楽しむ。その中で、豊かな創造力を養い、友人との協力関係を築き、児童の健全な育成を図る。

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	○	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	田植え体験と農村民泊	実施時期	4月中旬～5月中旬まで
ねらい	農村生活体験を通して、農村の暮らし、農業の今昔、人と自然の関わり、食の安全と流通、自然の恵みなどを学び、協調性、自主性、達成感などを学習する。また、異空間で異年齢、非日常と接することで得られる「豊かさとは何か」を考える契機とする。班別行動や人との接することなどを通して、互いを認め合い、互いが「生きる」ということの意味を考え、心温まる感動、心高まる感動を心に刻むことをねらいとする。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	学校集合～出発～移動	学年全体での出発式～移動
	午後	入村式（地域の情報交換等）、農村生活体験（班別）と夕飯づくり	あいさつ・自己紹介・それぞれの地域の情報の交換。民泊家庭に分かれ、荷物整理、家での自己紹介・休憩・夕飯の食材の調達・調理体験。
	宿泊	農林漁家民泊	民泊家庭との交流（歓迎会）・健康状況観察。一日の記録。
2日目	午前	田植え体験（西大路地区）	手植えによる田植え体験を通して、米作りの過程を学ぶ。田の周辺の動植物の調査・観察。
	午後	農村の散策としくみ、農村生活体験（班別）と夕飯づくり	地域に存在する様々な遺産、文化財などを探索、研究する。夕飯の食材の調達・調理体験、民泊家庭との交流。
	宿泊	農林漁家民泊	語らいの時間・健康観察。一日の記録。
3日目	午前	里山保全活動	里山の竹林整備作業を行い、人と自然の関わり、里山の役割などについて学ぶ。
	午後	竹細工づくり、農村生活体験（班別）、家族への手紙学習	竹トンボ、竹馬、一輪ざしなどの工作。村の仕組みや行事、豊かさを学び記録する。自分の家族へ手紙を書く。
	宿泊	農林漁家民泊	語らいの時間・健康観察。一日の記録。
4日目	午前	家族への手紙の投函、写生大会	民泊地域の中で心に残る風景、人、動物などを写生する。
	午後	交流会の準備、民泊でお世話になった家庭への手紙学習、交流会	交流会の出し物準備。民泊家庭との交流会。
	宿泊	農林漁家民泊	語らいの時間・健康観察。一日の記録。
5日目	午前	離村式	受入農家さんとお別れと全員での離村式
	午後	移動～帰校式	学年全体での帰校式を行い、解散

兵庫県豊岡市 豊岡市長期宿泊体験推進協議会



問合せ先

窓口名：豊岡市
住所：兵庫県豊岡市中央町 2-4
TEL：0796-23-9016(内線 2323)
FAX：0796-22-3872
E-mail：kankou@city.toyooka.lg.jp

アクセス

最寄りの都市：神戸市
集合場所：豊岡市中心部まで
車の場合：120 分

受入概要

子ども農山漁村交流プロジェクトの趣旨に則り、豊岡市において、小学校の農山漁村長期宿泊体験活動の受入を地域連帯して行うため、「豊岡市長期宿泊体験推進協議会」は平成 20 年 7 月に正式に発足した。

子どもたちが豊岡市に来てよかったと思えるような体験を提供することが協議会の目標であり、充実した体験プログラムを備えている。中でも、コウノトリについて勉強し、環境に対する認識を深めていける体験プログラムは本市ならではのものである。



受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

豊岡市は、平成 17 年 4 月 1 日に兵庫県の北東部に位置する 1 市 5 町（豊岡市、城崎町、竹野町、日高町、出石町、但東町）が合併してできた。人口は、9 万人弱で、面積は、県下で一番大きく 697.66 km²で、東西 38.8 km、南北に 32.2 km の広さを有する。

市域の約 8 割を森林が占め、北は日本海、東は京都府に接し、中央部には母なる川・円山川が悠然と流れている。海岸部は、山陰海岸国立公園、山岳部は氷ノ山後山那岐山国定公園に指定され、多彩な四季を織りなす自然環境に恵まれている。

また、平成 17 年 9 月には、国指定の特別天然記念物・コウノトリが自然放鳥され、平成 19 年 5 月には、国内の自然界では 43 年ぶりにヒナが誕生するなど、また、豊岡の地では、放鳥したコウノトリが 19 羽、コウノトリ郷公園で飼育されている 98 羽の計 117 羽が生息している。

歴史・文化的な特色

豊岡市には、志賀直哉の小説『城の崎にて』で有名な 1400 年もの伝統を誇る山陰の名湯『城崎温泉』、但馬の小京都と呼ばれ、江戸時代に 5 万 8 千石の城下町として栄えた出石などの名所がある。

また、一度は、自然界から絶滅したコウノトリを野生復帰させる取組が市内で取組まれており、コウノトリのことについて、学べるコウノトリ文化館が市内に設置されている。

農林水産業の特色

山あり、川あり、海ありの多彩な自然環境に恵まれた豊岡は、農林水産業が盛んな地域である。食材の宝庫であり、四季を通じておいしい食べ物がある。

安全・安心な農産物を供給するため、「コウノトリの舞」農産物生産団体認証制度を設けている。この制度は、環境に配慮した栽培方法により生産している団体を市が認定するもので、その団体が生産した農産物は「コウノトリの舞」農産物として、認定ステッカーを添付し流通させている。平成 19 年には、そば、大豆、小麦の認定要件を追加した。

近年、都市住民が自然豊かな農山漁村に滞在して、農作業などを体験し、その地域の歴史や自然に親しみながら時間を過ごす「グリーンツーリズム」活動が活発になっている。市では都市と農村の交流の活性化を目指し、農家民宿や市民農園の開設、どぶろくなどの特産品づくりを支援している。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民宿
軒数	224
最大宿泊可能人数	3500
料金	5000 円～

おすすめ体験学習プログラム

自然・環境体験（豊岡） コウノトリの見学及び野生復帰の取り組みについての学習（所要時間 60 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

野生コウノトリの国内最後の生息地である豊岡市で、飼育されているコウノトリを見学するとともに、野生復帰の取り組みについての話を聞いて、環境に対する理解を深める。

スキー教室（神鍋高原）（所要時間 480 分・スポーツ・レジャー体験）

【期間】

1 月上旬 ～ 3 月上旬まで

【内容】

神鍋高原スキー場でスキーを体験する。



スキー教室

地元の踊りを習う（日高）（所要時間 120 分・ふるさと体験）

【期間】

通年

【内容】

そうだろ節、ヤチャ踊り、こうのとりの元音頭など、地元の人から習得する。

地引網（竹野）（所要時間 180 分・漁業体験）

【期間】

通年

【内容】

地引網は、古くから沿岸各地で盛んに行なわれてきた漁法。網を 2 艘の船で巻き、浜で網を引き上げる。砂浜で、みんなで力を合わせて網を引っ張り、網が岸に引き上げられると、いろいろな種類の魚を手づかみにすることができる。

ふるさと料理づくり（但東）（所要時間 180 分・食の体験）

【期間】

通年

【内容】

地元産の食材を使った、おにぎり作り、こんにゃく作り、ごへいもち作り、おはぎ作り体験。普段では作れない昔ながらの料理を地元の新鮮、安全な食材を使用して調理体験ができる。作った料理はその場で食べる。（指導者 3 名予定）

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	-	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	自然の恵み体験とコウノトリについて	実施時期	5 月中旬 ～ 6 月中旬まで
ねらい	①環境保全の取組の紹介による、自然界の連鎖、人の生活の中での関わりなどの学習 ②農業体験による食育、地産地消の取組の大切さ、必要性の学習 ③各種体験、作業における協調性、連帯感の醸成 ④一般教科や総合的な学習での事前学習における予習、体験活動終了後の振り返り（復習）学習		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1 日目	午前	入村式	オリエンテーション・体験指導者との対面、自己紹介、『豊岡市についての質疑応答など。』
	午後	コウノトリと農業について	コウノトリの野生復帰への取組及び環境創造型農業の取組について学習。
2 日目	宿泊	民宿	1 日目の体験の振り返り（夕食時に簡単に）。
	午前	手植えによる田植え体験	昔ながらの手植えによる田植え体験。
	午後	田んぼでの生き物調査	無農薬栽培の水田において、生き物の状況を調査する。
	宿泊	民宿	2 日目の体験の振り返り（夕食時に簡単に）。
3 日目	午前	里山体験	里山において竹などの間伐をおこなう。
	午後	竹炭づくり	午前中に山から切ってきた竹を使って炭作りを行う。
	宿泊	民宿	3 日目の体験の振り返り（夕食時に簡単に）。保護者宛の（絵）手紙の作成。
4 日目	午前	川において魚とり	近くの川において魚を捕まえる。
	午後	川の生き物調査	川において生物の生息状況を調査する。水田で調査した生き物との違いを見比べる。
	宿泊	民宿	宿泊している各民宿でのお別れ会を兼ねた夕食会。子ども達のお礼の披露など。
5 日目	午前	野菜の収穫体験	畑に植えられた野菜を収穫する。収穫した野菜を使って昼食作り、昼食会
	午後	離村式	お世話になった人たちとお別れする。

兵庫県養父市 氷ノ山鉢伏わん泊体験村受入協議会

<http://hyounosenhatibuse.jp>

問合せ先

窓口名：氷ノ山鉢伏観光協会
住所：兵庫県養父市関宮 633
TEL：079-667-3113 FAX：079-667-3159
E-mail：info@hyounosenhatibuse.jp

アクセス

最寄りの都市：神戸市
集合場所：ハチ高原
車の場合：120 分



受入概要

子ども農山漁村交流プロジェクトの趣旨に則り、養父市において、小学校の農山漁村長期宿泊体験活動の受入を地域連携しておこなうために、平成 20 年 3 月に「氷ノ山鉢伏わん泊体験村受入協議会」は発足した。

氷ノ山山ろくの棚田や里山を利用した農林作業体験はもとより、自然との一体感を味わう体験活動（ネイチャリング）も充実している。東鉢伏地区は古い遺跡や文化財が多く、昔からの集落の歴史を見て、鉢伏の自然と親しみ、農業や食料の大切さや農村域の役割等を体験することが出来る。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

兵庫県の北部鳥取県との県境にそびえたつ氷ノ山（1,510m）、阪神間から約 150 分で山間の風景から突如高原が出現する。養父市は、氷ノ山、鉢伏山のふところに抱かれた地理と気候高原の町として知られる。市内には大型の宿泊施設から昔ながらの農家民宿までさまざまな宿泊施設が建ち並んでいる。

兵庫県の最高峰、氷ノ山の東に広がるハチ高原や東鉢伏高原などでは、昔から地産地消（田、畑、高原野菜）を行い、1 年を通じて様々な食材を提供してきた。

四季を通じてアウトドア体験・農業体験・森林体験等が楽しめる。

歴史・文化的な特色

各地区に昔からの伝承行事が多く継承されている。お当さんの餅つき、別宮のお綱打ち、葛畑農村歌舞伎舞台、別宮家野遺跡、ハチ高原ミツガシワ、ヤマドリゼンマイ等、国・県・市指定の文化財などを有している。

農林水産業の特色

【農業】農業では、水稻を中心に野菜、花き等が生産されている。コープ神戸と連携している有機野菜や減農薬野菜をはじめ、轟ダイコン、蛇紋岩米等のブランド化への取り組みが進められている。山間地の大型機械が使えない棚田ではいまでも昔ながらの稲づくりが行われているのが特徴である。

【畜産】畜産は但馬牛や養豚、ブロイラー飼育が行われている。

【林業】以前は森林所有者自らが枝打ちや間伐をして森林を管理してきたが、現在はこれらの作業はほとんど森林組合が行っている。また、氷ノ山山系にあるブナ、ミズナラ等の天然林は豊かな森林生態系の重要な役割を果たすものとして保護の対象となっている。近年は里山の雑木林を再生し、自然とのふれあいの場、憩いの場としての活用が積極的に取り組まれている。



宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民宿
軒数	95
最大宿泊可能人数	7000
料金	4500 円～

おすすめ体験学習プログラム

お当さんのお餅つき（所要時間 90 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

地元に伝わる伝統のお餅つき。3本の棒状の杵で3人がテンポ良く掛け声を合わせてお餅をつき、それを食べる。



ワラ細工（所要時間 180 分・農業体験）

【期間】

通年

【内容】

刈り取った稲ワラを使い「わらぞうり」「人形」などを作る。地元のお年寄りから、刈り取った稲ワラで草履づくりを学び、合わせて異世代交流を行う。



国指定「葛畑農村歌舞伎舞台」の見学、七つの舞台機能と資料館の説明（所要時間 60 分・ふるさと体験）

【期間】

通年

【内容】

国指定「葛畑農村歌舞伎舞台」の見学、七つの舞台機能と資料館の説明。

ネイチャースキー（所要時間 120 分・自然・環境体験）

【期間】

1月中旬～3月上旬まで

【内容】

スキーを使用して冬の自然観察。降雪地域ならではのことが出来ない自然の様子、樹氷や雪の中の新芽、動物の足跡などを観察する。

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	-	○

おすすめのモデルプラン

プラン名	いなかの自然まんぷく体験	実施時期	9月10日～10月20日まで
ねらい	児童が、氷ノ山鉢伏地域の特色ある自然・農林業を体感し、チャレンジするとともに、農林家泊での家族的な異世代交流、集団活動や規則正しい生活を行うことで、様々な状況・立場をわきまえた人間らしく判断して、行動していける“生きる力”を培うこと。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	現地までの移動	オリエンテーション、集落、周辺の探索。 団体生活を経験し、規律正しい生活を過ごす。
	午後	入村式	
	宿泊	農家民宿	
2日目	午前	竹箸づくりとぼた餅	滞在中に使う箸を自分でつくる。昼食の準備：ぼた餅づくり わらぞうり作りに使う縄を稲わらでなう。自分たちでなったわら縄で草履を作る。
	午後	わら細工	
	宿泊	農家民宿	
3日目	午前	お弁当を持って 自然観察登山	宿のおじさん、おばさんから、昔の暮らしの話を聞く。 各自でおにぎりを作り登山の準備。お弁当を持って自然観察登山。 植物観察指導員による案内。下山後、休憩と後片付け。 夕食後1日の生活体験の感想を話し合う。
	午後	自然観察登山	
	宿泊	農家民宿	
4日目	午前	農家民宿とのお別れ	朝食、片付け、清掃活動、農家民宿へのお礼の方法の検討。 農家民宿とのお別れ会。 班別に、農家民泊での学習の成果の取りまとめを行う。保護者宛の宿泊体験の感想を手紙にする。
	午後	宿泊体験活動のまとめ（地域関係者のサポート付き）	
	宿泊	農家民宿	
5日目	午前	片付けとお別れ会	団体生活を経験し、規律正しい生活を過ごす。 片付け、清掃活動。児童による受入関係者に向けたお別れ会（演奏会）
	午後	学校まで移動	

兵庫県淡路市 淡路市体験教育旅行推進協議会

<http://awaji-taikenkyoiku.com/index.html>

問合せ先

窓口名：淡路市体験教育旅行推進協議会事務局
住所：兵庫県淡路市岩屋 925-27
TEL：0799-72-3420 FAX：0799-72-3421
E-mail：e-fukutani@awaji-kankou.or.jp

アクセス

最寄りの都市：淡路市
集合場所：津名港バスターミナル
車の場合：75 分



受入概要

淡路市の豊かな自然環境、各種産業とそれらに携わってきた人々の知恵と暮らし、阪神淡路大震災の教訓や集客性のある体験施設等を観光を介してつなぎ、滞在促進を図ることで活力ある淡路市の地域づくりを推進している。淡路島の“なりわい”に触れ、人々の暮らしや自然環境との関わり、防災学習を通じて、多くの人にこれからの生きる知恵やヒントを学んでもらうため、地域の人たちが手をつなぎ、自らの産業を活性化しながら地域力向上を目指している。

ひとつの地域で農業体験・漁業体験と震災防災学習が出来ること、地域の地場産業との連携が淡路島の特徴だと捉え、充実した体験プログラムを提供している。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

世界最長の明石海峡大橋が架かる淡路市は、淡路島の北部に位置し、神戸市内から車で約 30 分、大阪市内から約 1 時間で来訪することができる。周囲は海に囲まれているため、漁業との関わりが深く、市の中央は、津名丘陵が占め傾斜が多く複雑な地形になっていることが特徴である。

瀬戸内海国立公園に位置し、豊かな自然に恵まれており、国営明石海峡公園、県立淡路島公園、兵庫県立香りの公園、淡路夢舞台、淡路花さじき、兵庫県立淡路景観園芸学校など花と緑に関係する自然公園と都市公園が多いことが特徴である。

歴史・文化的な特色

淡路市の学習素材は、先ず野島断層保存館に代表される震災・防災学習。また日本最大級の鉄器工房とされる垣内遺跡や幕末の交通要衝地の警護のための台場跡などの文化財がある。

地域の風土として、ちりめんの天日干し、魚介類の加工工場など、地域の人たちが継承してきた地場産業は、文化的な淡路市の景観として沿岸部などで目にすることができる。他にも国内の 70%を生産しているといわれる線香産業があり、お香づくりは文化性のある体験メニューとして多くの人に好まれている。

農林水産業の特色

農業においては、傾斜が多く、中山間地域が多いことが特徴である。このため大規模農家は少ない。地域のイベント活動を通じて都市と交流を促進してきた集落もあり、交流事業については積極的である。花卉栽培や果樹栽培も盛んで、年間を通して収穫体験を実施している。

漁業については、各地域に漁港があり、地域の特徴を生かした漁法が営まれている。地曳網漁や底曳網漁、また定置網漁など漁業体験プログラムについても取り組みが行われている。



宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民宿
軒数	22
最大宿泊可能人数	1229
料金	6300 円

おすすめ体験学習プログラム

昔の暮らし体験（所要時間 120 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

石臼で大豆を引いてきな粉を作り。昔の人々の暮らしをのんびりときな粉づくりで体験。豆の入れ方、臼の回し方を体験できる。

地曳網漁体験（所要時間 180 分・漁業体験）

【期間】

5 月 ～ 11 月まで

備考：荒天中止、実施日限定(火、土曜日)

【内容】

海に囲まれた淡路島ならではの漁業体験。とれた魚介類はすべて持ち帰り、宿で料理して食べることができる。

震災防災学習（所要時間 120 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

備考：年末年始休館

【内容】

阪神淡路大震災の当時の映像と実際の断層などを見学することにより自然の驚異を語り部の話しを聞くことにより地域の人々の助け合いなど、震災と防災について学習する。

たまねぎの定植と収穫体験（所要時間 120 分・農業体験）

【期間】

4 月 ～ 6 月まで

【内容】

淡路島の名産であるタマネギの定植体験と収穫体験を実施する。

たまねぎの定植と収穫体験（所要時間 120 分・農業体験）

【期間】

11 月 ～ 11 月まで

4 月 ～ 6 月まで

備考：定植と収穫は時期が異なります。

【内容】

淡路島の名産 タマネギの定植体験と収穫体験。



受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	○	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	淡路島なりわい体験コース	実施時期	通年
ねらい	淡路島の自然環境を生かした体験学習や農林漁業体験を通して、自然の恵みと人々のなりわいを体感する。また、農作業や調理実習などによる協調性や自立性の育成、震災学習・防災学習による危険予知などの学習を通して、皆が助け合って、何かを成し遂げることによる協調性と助け合いの精神の育成を目標とする。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1 日目	午前	淡路島の歴史学習	淡路市立歴史民俗資料館見学。淡路島の昔暮らし体験、歴史学習、紙芝居
	午後	震災防災学習	震災の語り部、展示館見学、防災学習
	宿泊	民間宿泊施設、公共宿泊施設	
2 日目	午前	農業体験	季節の野菜の収穫体験、収穫野菜を使った調理実習。
	午後	リース作り、お香作り体験	淡路島の特産品線香工場見学。リース作りまたはお香作り体験。
	宿泊	民間宿泊施設、公共宿泊施設	
3 日目	午前	果実収穫体験	季節の果物の収穫体験、収穫した果実を使った調理実習
	午後	吹き戻し制作体験、近隣里山風景の見学	昔の玩具「吹き戻し（巻き笛）」の制作体験。里山風景の見学
	宿泊	民間宿泊施設、公共宿泊施設	
4 日目	午前	漁業体験	朝食・清掃・民宿へのお礼、農林漁家とのお別れ会
	午後	クラフト体験	ねんど工作、草木染め、どんぐり工作など。
	宿泊	民間宿泊施設、公共宿泊施設	
5 日目	午前	産業体験または海岸見学と貝類の観察など	地元農産物の販売所への出荷準備作業、または海岸見学と貝類の観察他。
	午後	退村式	

兵庫県香美町 香美町自然学校受入協議会

<http://www.town.mikata-kami.lg.jp>

問合せ先

窓口名：香美町 産業部観光商工課
住所：兵庫県香美町香住区香住 870-1
TEL：0796-36-3355 FAX：0796-36-3355
E-mail：kankoushoukou@town.mikata-kami.lg.jp

アクセス

最寄りの都市：神戸市
集合場所：香美町役場・村岡地域局・小代地域局
車の場合：180分



受入概要

「香美町自然学校受入協議会」は、子ども農山漁村交流プロジェクトの趣旨に則り、香美町において、小学生による農山漁村長期宿泊体験活動の受入を地域連帯して行うために、平成20年3月に発足。

目の前に海があることから、海、砂浜、磯、岩場など活用した体験メニューが充実している。海を活用した体験を行うとともに海における文化などの社会的な話、環境の変化、風と波と海のつながりなどの理科学的な話を行い複合的な体験学習の場として提供を行う。また、日本海で取れたての魚等を食し、宿泊宿から魚の種類、採り方、生息場所などの話を聞くことで、食を通じての学習も可能（香住区）。回りが山々に囲まれており高原資源を活用した体験メニューも充実している。山、農地などを活用した体験を行うとともに棚田、但馬牛、杜氏における文化などの社会的な話、環境の変化、大地と水、山と植物・生物のつながりなどの理科学的な話を行い複合的な体験学習の場として提供を行う。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

香住区には、宿泊施設の目の前に日本海の大自然があり、海ならではの海の施設や文化財などが豊富にある。村岡区や小代区は、宿泊施設周辺が1000m級の山々に囲まれた高原地に位置している。

2000万年前（恐竜時代からの）ジオパーク的地質遺産（岸壁や波によって浸食された千畳敷、波食棚、カエルの形をした蛙島）が存在するほか、湿地帯として有名な「大池」があり、特有の高原植物を観察できる。千畳敷周辺での磯では、イソギンチャク、マキガイ、ウミウシなど浦島太郎気分でも磯独自の生き物を観察が可能だ。

歴史・文化的な特色

香美町は、大乗寺（江戸時代の画家円山応挙の襖絵など重要文化財を156点保有）や、余部鉄橋（明治45年に建設された高さ41m、長さ309mのトレスル式の日本一の鉄橋）、日本海の漁火が展望できる御崎灯台、日本の滝百選「猿尾滝」、多数の棚田などを有している。そのほか、マツバガニや香住鶴（清酒）、但馬牛、高原野菜などでも有名である。

農林水産業の特色

1. 香美町の農業の概要：

香住区の梨生産量は兵庫県一を誇る一大産地となっているほか、村岡区で生産された村岡米は全国の品評会で金賞を獲得している。また、有名ブランド牛の素牛である但馬牛のふるさととして名高く、その肥育に取り組んでいる。

2. 香美町の林業の概要：

香美町の森林面積は、町全体の86%を占め、全国的な林業従事者の減少の中で本町では林道整備などを通じて、効率的な維持管理を行えるようにしている。

3. 香美町の漁業の概要：

香住・柴山の二つの漁港があり、冬の味覚・松葉ガニは全国屈指の水揚げ量を誇る。特に柴山港では、100種類を超える選別がなされ、「柴山ガニ」の名で知られている。また、近畿圏では香住漁港だけで水揚げされるベニズワイガニは「香住ガニ」と呼ばれ、小型船中心の操業のため鮮度が抜群である。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民宿	ホテル・旅館	公設の宿泊施設
軒数	51	2	1
最大宿泊可能人数	2350	70	260
料金	4700円～	4000円～	3050円～

おすすめ体験学習プログラム

田植え体験（所要時間 120 分・農業体験）

【期間】

4 月下旬 ～ 5 月中旬まで

備考：要事前相談

【内容】

棚田で田植を体験する。日本人の主食である米がどうやってできるか、また棚田が地域においてどんな役割を果たしているのか、農業に従事している人々の工夫や努力、自然とのつながり等を学習する。

山の手入れ体験（所要時間 120 分・林業体験）

【期間】

5 月上旬 ～ 10 月中旬まで

備考：要事前相談

【内容】

山に入り、枝打ち、間伐などを体験し、山の手入れを行う。森が木材という材料を提供するだけでなく、CO2 の削減、治山等の役割を果たしていることをつたえる。



山の手入れ体験

漁火ナイトハイキング（所要時間 120 分・自然・環境体験）

【期間】

4 月 ～ 10 月まで

【内容】

真っ暗な海へ浮かぶ日本海特有のイカ釣り漁船の漁火を高台で見学し、漁師からイカの特徴、習性とイカ釣りの方法、夜の漁の苦労話、イカのおいしい食べ方、昔ながらの加工方法などの話を聞く。

焼き板づくり（所要時間 120 分・クラフト体験）

【期間】

5 月上旬 ～ 11 月下旬まで

【内容】

間伐により採取した杉を用い、杉の板 15cm×10cm×1.5cm 全体を火で焦げ目をつけたものを、古新聞、ウエス等で磨き、木目を浮き出させる。そこに、特殊な絵の具を用いて、絵を書く。

箱膳食育（所要時間 120 分・食の体験）

【期間】

5 月中旬 ～ 11 月下旬まで

【内容】

体験初日からスタートする。昭和 30 年代まで行われてきた食習慣の一つで自分の食事は自分のスペースを確保し、食を通して食の歴史と食べ物教育を行う。地元のもと校長先生数名が指導者。

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	-	○

おすすめのモデルプラン

プラン名	木々の香り満喫・山物語	実施時期	4 月 ～ 10 月まで
ねらい	村岡・小代地域（山の体験エリア）の特色ある自然・漁業体験を体感し直接的な体験を積むことで、豊かな感性と人間関係を育てる。農林漁家での生活を通して、集団活動や規則正しい生活を行い、協調性や社会性を身につける。これらを通じて、児童の学ぶ意欲や自立心を育み、人間らしく行動していける“生きる力”を培う。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1 日目	午前	現地までの移動	挨拶・自己紹介、当該地域に関する情報交換、指導者紹介。ハチ北内のオリエンテーリング 宿泊先の人と交流しながらの夕食（散策で学習した内容の詳しい話を聞く。）
	午後	入村式（地域に関する情報交換等）・オリエンテーション	
	宿泊	農林漁家民宿	
2 日目	午前	野菜の収穫体験	農家が生産する野菜の収穫を行い、農業の仕組み、育てることの大変さや生産することの喜び等を伝える。 竹林より竹を採取し、竹の食器、My 箸を作り、期間中の My 食器として利用する。
	午後	竹細工	
	宿泊	農林漁家民宿	
3 日目	午前	山の手入れ体験	森に入り実際の山の手入れ、枝打ち、間伐などを体験。 間伐で採取した杉を利用して、オリジナルの焼き板を製作する。夜のキャンプファイヤープログラムを判別に準備。 キャンプファイヤーで、グループ同士の交流を深める。
	午後	焼き板づくり	
	宿泊	農林漁家民宿	
4 日目	午前	魚つかみ体験	実際に川に入り、放流された魚のつかみどりを体験。昼食：採った魚を串焼きにして食べる。 宿泊体験での学習の内容や思い出を各班ごとにまとめる。保護者宛の宿泊体験の感想を手紙にする。
	午後	宿泊体験活動のまとめ（受入関係者サポート）	
	宿泊	農林漁家民宿	
5 日目	午前	片付けとお別れ会	片付け・清掃活動。児童による受入関係者に向けたお別れ会。
	午後	学校まで移動	

兵庫県新温泉町 新温泉町いなか体験協議会

<http://www.town.shinonsen.lg.jp>

問合せ先

窓口名：新温泉町
住所：兵庫県新温泉町浜坂 2673-1
TEL：0796-82-5625(直通) FAX：0796-82-3054
E-mail：youji_oota@town.shinonsen.lg.jp

アクセス

最寄りの都市：神戸市
集合場所：新温泉町役場駐車場
車の場合：180 分



受入概要

子ども農山漁村交流プロジェクトの趣旨に則り、新温泉町において、小学校の農山漁村長期宿泊体験活動の受入を、地域連帯して行うために、平成 21 年度に「新温泉町いなか体験協議会」が発足。都市部では体験できない田舎ならではの貴重な体験を通じて、自然の素晴らしさ、人間の知恵、人と自然の共存の大切さなどを体験する。又、人と人の交流を通じて、思いやりを深め、自立心を高め、社会性や規範意識を育むことを掲げ、受入を行っている。

豊かな自然を生かした体験プログラムを多数提供しており、農業や漁業等を体感しながら学ぶことができる。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

新温泉町は、兵庫県の北西部に位置しており、北は日本海に面し、西は鳥取県に接する地域で、内陸部は 1,000 メートル級の山々に囲まれている。また、山陰海岸国立公園、氷ノ山後山那岐山国定公園、但馬山岳県立自然公園等の自然公園指定区域が全体の約 46%を占める海と山と温泉を包含する自然環境豊かな地域である。

「海・山・温泉」という自然の恵みにより、多くの資源を有している。海では、日本列島が誕生するときに繰り返された激しい火山活動などの様子を観察することができ、ユネスコ認定の「ジオパーク」への取り組みを進めている山陰海岸や白砂青松 100 選に選ばれた浜坂県民サンビーチ、漁協単位の漁獲量日本一の松葉カニ、ホタルイカをはじめとする海産物がある。山では、ブナの原生林や上山高原をはじめとする地域全体を博物館として保全に取り組んでいる「上山高原エコミュージアム」、神戸牛、松阪牛など全国和牛の素牛として知られる「但馬牛」や山の傾斜地を利用した二十世紀梨や高原野菜、バイカモの群生などが有名である。温泉では、開湯 1150 年の歴史と 98℃の高温を誇り、夢千代日記の舞台ともなった「湯村温泉」や国民温泉保養地に指定されている「浜坂温泉郷（浜坂温泉・二日市温泉・七釜温泉）」や各種温泉施設がある。

歴史・文化的な特色

新田次郎の「孤高の人」のモデルである登山家の加藤文太郎、「東の啄木、西の翠溪」と言われた歌人、前田純孝などの著名な人物を輩出するほか、麒麟獅子舞、傘踊り、ざんざか踊り、はねそ踊り、菖蒲綱引きなどの文化資源も有している。また、但馬杜氏や地域の農産物、海産物を生かした伝統食文化も真温泉町の特徴である。

農林水産業の特色

・新温泉町の農業

日本海に面する平野部から 1,000m級の高原地域に至るまで、米作を中心に様々な農作物が生産されている。中でも、高原野菜「畑ヶ平大根」は市場でも高い評価を受けている。山の傾斜を利用した「二十世紀梨」はみずみずしさが魅力的である。また、全国和牛の改良用素牛として極上の肉質を誇る「但馬牛」の産地でもある。

・新温泉町の水産業

町の沿岸及び沖合域は、対馬暖流が流れる好漁場をなし、漁業協同組合単位の漁獲量が日本一のホタルイカ、松葉カニをはじめ、スルメイカ、ハタハタ等の多くの魚種において全国の上位を占めるほど豊富な水産資源に恵まれている。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家民宿	農林漁家以外の民宿	公設の宿泊施設
軒数	10	6	20	4
最大宿泊可能人数	50	200	1177	260
料金	3000 円～	6500 円～	10000 円～	3500 円～

おすすめ体験学習プログラム

地引き網（所要時間 60 分・漁業体験）

【期間】

5月上旬～10月下旬まで

【内容】

日本海沿岸有数の漁獲量を誇る浜坂漁港近くの砂浜で実施する。取れる魚の種類、漁獲の方法、地場の魚を活かした調理方法などを地域性のある特色を学ぶことができる。



地引き網体験

そば打ち体験（所要時間 60 分・食の体験）

【期間】

通年

【内容】

地域の特産である「そば」作りを体験する。自分の作ったそばとプロの作ったそばの味比べもできる。



そば打ち体験

マリンスポーツ体験（所要時間 240 分・スポーツ・レジャー体験）

【期間】

5月中旬～8月下旬まで

【内容】

山陰海岸の素晴らしい景色を見ながら、マリンスポーツの体験ができる。カヌー・ペアカヌー・OPヨット・12Fヨット・ダブルスカル・ローボート・ドラゴンボート

上山高原登山（所要時間 240 分・自然・環境体験）

【期間】

5月下旬～10月下旬まで

【内容】

ススキの草原、ブナ等の広葉樹が広がり、多様な生態系を育む上山高原をインストラクターの説明と共にトレッキングする。

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	○	○

おすすめのモデルプラン

プラン名	自然体験ファーム	実施時期	6月下旬～9月中旬まで
ねらい	児童が食糧の生産現場や収穫の現場を自ら体験することで、日常何気なく口にしている食べ物の大切さを再認識するといった「食育」に繋がることも期待される。豊かな自然の中で多くの体験を重ねることで、児童の好奇心や学ぶ意欲がはぐくまれ、「生きる力」を育成する。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	現地までの移動	
	午後	入村式（地域に関する情報交換等） 牧場見学	挨拶・自己紹介、当該地域に関する情報交換。牧場及び周辺の里山の散策を行う。オリエンテーリング等
	宿泊	農林漁家民宿「まきばの宿」他	団体生活を経験し、規則正しい生活を過ごす。
2日目	午前	和牛農家体験	牛の世話をし、畜産農家の体験を行う。畜主の方から、牛についての話を聞く。牛とのふれあい。
	午後	野菜収穫体験	農家の畑において、野菜の収穫体験を行う。農家の方に畑仕事、野菜の話などを聞く。
	宿泊	農林漁家民宿「まきばの宿」他	夕食後、一日の体験学習の感想を語り合う。
3日目	午前	そば打ち体験	そば造り体験。
	午後	竹炭づくり 竹細工作り	竹林から竹の切り出しを行い、窯入れから竹炭造りを行う。指導員の元、竹を使った造形物の作成を行う。
	宿泊	農林漁家民宿「まきばの宿」他	団体生活を経験し、規則正しい生活を過ごす。
4日目	午前	地引き網体験	みんなで力を合わせて地引き網を引く。引き揚げた魚の説明、バーベキュー。
	午後	港釣り 海辺の生物観察会	港内で魚釣り。海辺の生物の観察を行う。
	宿泊	農林漁家民宿「つるだ」他	夕食後、一日の体験学習の感想を語り合う。
5日目	午前	山陰海岸体験	遊覧船に乗り、但馬の海岸沿線を観察。専門員より、海岸沿いの地質や日本列島誕生との関わりなどの話を聞く。
	午後	離村式	片付け、清掃、お別れ会

奈良県十津川村 神納川農山村交流体験協議会

<http://www.attakainaka.com/>

問合せ先

窓口名：神納川農山村交流体験協議会

住所：奈良県十津川村大字五百瀬 95

TEL：0746-67-0788 FAX：0740-22-6113

E-mail：kannogawa@attakainaka.com

アクセス

最寄りの都市：五條市

集合場所：十津川村 五百瀬小学校（廃校）

車の場合：100 分



受入概要

地域内の資源を活かした農山村交流体験を通じ、新たな観光振興拠点づくりを目指し、継続可能な運営体系を確立し、地域振興と共に新たな雇用を創出するため、「神納川農山村交流体験協議会」を設立。

田舎ならではの知恵ある生活を都会の子どもたちに体験してもらえようプログラムを検討し、最近では少なくなった雑穀を使った料理や、都会ではできない清流での川遊びや夜の星空体験など、田舎の暮らしを体験できるよう、体験活動を提供している。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

十津川村は、和歌山・三重両県に接する奈良県最南端、紀伊半島のほぼ中央に位置する。面積は奈良県全体の約 5 分の 1 を占め、村としては日本一の広さを持っている。受入地域の神納川区は村の北西部に位置する。

地域周囲は、1,000m級の山々に囲まれており、その谷間には1級河川・神納川が流れている。この川には鮎やアマゴなどの魚が生息しており、シーズンには釣り客が多数訪れる。

歴史・文化的な特色

地域の中央には、世界遺産「熊野参詣道 小辺路」が通っている。この小辺路は、古くは平安時代から高野山と熊野三山を行き来するために利用されていた道で、石畳や石地蔵が数多くあり、現在は多くのハイカーが訪れている。また集落には、県指定文化財「政所」や棚田があり、昔ながらの農山村風景が残されている。

農林水産業の特色

主幹産業であった林業は木材価格の低迷により間伐等の保育は遅れぎみではあるが、他の地域より比較的、山林作業等が行われている。

農業（耕作）については、急峻な斜面での畑作が中心で、比較的なだらかな場所では棚田により水稲が行われている。

メニューとしては、知恵ある生活を都会の子どもたちに体験してもらえよう、最近では少なくなった雑穀を使った料理体験や、田舎の清流での川遊びなど本当の田舎の暮らしを体験として準備している。

20 年度受入を行った以降、地産地消による自家消費が増えたため、年間を通じた栽培や休耕地の解消など、地域での生産意欲の向上がみられるようになっている。



棚田

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家民宿
軒数	1	9
最大宿泊可能人数	6	54
料金	4200 円～	5500 円～

おすすめ体験学習プログラム

果物狩り（所要時間 120 分・林業体験）

【期間】

4月上旬～7月下旬まで

【内容】

山林の中にあるわさび田で育成しているわさび収穫を収穫する。

魚釣り体験（所要時間 180 分・漁業体験）

【期間】

4月下旬～9月下旬まで

6月上旬～8月下旬まで

【内容】

川虫確保から釣り具の使い方を学びながらアマゴ釣りをを行う。

コンニャク作り体験（所要時間 240 分・食の体験）

【期間】

7月下旬～3月下旬まで

【内容】

地域でとれたコンニャク芋を使用し、こんにやく芋から玉コンニャクを作る全行程を体験し食する。

ほんものの温泉温泉体験（所要時間 120 分・ふるさと体験）

【期間】

通年

【内容】

温泉や温泉プールで本物の温泉を体験し、温泉の歴史や利用方法、公衆マナーについて学ぶ。

世界遺産小辺路ウォーク（所要時間 420 分・ふるさと体験）

【期間】

通年

【内容】

昔の古道と地域住民のかかわりや自然を学びながら、世界遺産遺産・熊野参詣道小辺路を歩き自然と歴史を体験。



受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	-	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	十津川村体験 1	実施時期	6月上旬～9月下旬まで
ねらい	①子どもにとって日常生活では体験出来ない田舎体験で、自立性・協調性を育む ②長期宿泊体験により、親への感謝の気持ちなどを親への感謝の気持ちを育む		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1 日目	午前		
	午後	十津川村に関する教室	オリエンテーション。十津川村についての説明。林業を含めた動植物等の教室。（体験を含む）
	宿泊	農林漁家民宿(9 軒)・農林漁家民泊(1 軒)	
2 日目	午前	農業体験	稲作・畑作関係、竹細工体験。
	午後	集落周辺の散策	餅つき、川遊び・山遊び。
	宿泊	農林漁家民宿(9 軒)・農林漁家民泊(1 軒)	
3 日目	午前	世界遺産「小辺路」散策	世界遺産遺産・熊野参詣道小辺路を歩き自然と歴史を体験。（三浦口～三浦峠～西中 バスにて神納川へ・帰路昂の郷、民俗資料館も可）
	午後	世界遺産「小辺路」散策	世界遺産遺産・熊野参詣道小辺路を歩き自然と歴史を体験。（三浦口～三浦峠～西中 バスにて神納川へ・帰路昂の郷、民俗資料館も可）
	宿泊	農林漁家民宿(9 軒)・農林漁家民泊(1 軒)	
4 日目	午前	木工・竹細工	十津川のスギ、ヒノキを使った木工工作、竹を使った竹細工。目張り寿司づくり。
	午後	移動（離村）	
	宿泊		

和歌山県高野市 高野ほんまもん体験協議会

<http://www.town.koya.wakayama.jp/>

問合せ先

窓口名：高野町企画振興課高野町企画課 世界遺産情報センター

住所：和歌山県高野町高野山 350

TEL：0736-56-2468 FAX：0736-56-2481

E-mail：gakusyu@town.koya.wakayama.jp

アクセス

最寄りの都市：大阪市

集合場所：檀上伽藍

車の場合：150 分



受入概要

「高野ほんまもん体験協議会」は、高野地域による子ども農山漁村交流プロジェクトの受皿団体として、町内の各事業所の協力連携にて結成。林間学校の適地として教育旅行を受け入れて来た実績やノウハウ、体験プログラム、インストラクターなどの資産を有効に活用。また、周辺集落の魅力の掘り起こしや高齢化する農家の生きがい作り、世界遺産という他地域には無い資産を結びつけることで、高野地域として独自の子ども農山漁村交流プロジェクトの受け入れを模索している。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

高野町は和歌山県の東北部に位置し、一部は奈良県と接している。標高約 200m～約 1,100mにかけて広がる典型的な中山間地帯である。面積の内、森林が 90%以上を占める。平均気温 10.4℃、年間降水量約 2,000mm。世界遺産に指定された高野山を中心に、山間に 19 の地区が点在している。高原性気候であるため、野菜の栽培が盛んであり、また、米も味が良いと喜ばれている。

高野地域においては、国有林内に非常に希少な森林形態である「高野山コウヤマキ群落保護林」を有する。また、奥之院参道沿いに林立する大杉林は、高野山の代表的森林景観となっている。また、主たる農業地である富貴地区には、県内で唯一「オオコオイムシ」の生息が確認されている。

歴史・文化的な特色

高野山は真言密教の根本道場として、816 年弘法大師空海によって開創された、山岳宗教都市であり、年間 120 万人を越える参拝者や観光客を受け入れている。また平成 16 年 7 月 7 日、「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録された。仏教美術工芸品を中心に、国内の 7%を収蔵し、宗教を基盤とした独特の文化や習慣を持つ。



農林水産業の特色

花坂区、富貴区、筒香区では稲作中心の農業が行われている。また、山間の集落では、急傾斜地を利用した段々畑で野菜類が作付けされている。富貴及び筒香地区ではミョウガが特産品。富貴地区では、タバコ、当帰が栽培されている。スギ、ヒノキを中心とした人工林が多い。また、花卉として利用するためコウヤマキの栽培も盛ん。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家以外の民宿
軒数	14	52
最大宿泊可能人数	65	6000
料金	4500 円～	6500 円～

おすすめ体験学習プログラム

炭焼き体験（所要時間 480 分・林業体験）

【期間】

5 月中旬 ～ 11 月中旬まで

【内容】

昔ながらの炭窯を使い黒炭を焼く。また、ドラム缶窯で竹炭を焼く。杉や桧、竹などの炭材を切り、窯に詰める。土をふるい、粘土をつくる。口焚きし、窯内の温度を上げる。煙などを観察することで、炭の焼け具合を知る。

草木染め(匂い袋作り)(所要時間 150 分・自然・環境体験)

【期間】

5 月中旬 ～ 10 月下旬まで

【内容】

野草を集め、煮出し、絹のハンカチを染め、ラベンダーなどのポプリを包み匂い袋をつくるプログラム。

食文化体験（所要時間 120 分・食の体験）

【期間】

5 月中旬 ～ 11 月中旬まで

【内容】

ちまきや散し寿司、柿の葉寿司、焼餅などの郷土料理を、地元の方の指導により体験・試食する。

タウンウォッチング（所要時間 180 分・ふるさと体験）

【期間】

5 月中旬 ～ 11 月中旬まで

【内容】

胡麻豆腐作りや和菓子作り、高野槇の出荷、位牌作り、数珠作りなど、高野山の地場産業をコースに分かれ見学するとともに実際に体験(実技)も行なう。



受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	-	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	世界遺産学習 世界遺産「高野山」の歴史や文化、伝統に触れる	実施時期	5 月中旬 ～ 10 月下旬まで
ねらい	世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に登録されている高野地域は、世界遺産であることを誇りに思い、世界遺産を守り育てる心を伝える「世界遺産学習」を行っている。世界遺産の実際に触れ、様々な人が様々な関わりをもって世界遺産を守り伝えている姿を学ぶ。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1 日目	午前	現地への移動	班に分かれ農家民泊の受入先へ移動。自己紹介。アイスブレイク。
	午後	入村式 農作業体験	
	宿泊	農家民泊	
2 日目	午前	離村式 食文化体験	受入農家とのお別れ会。郷土料理「焼餅」を、地元の商店の指導により体験・試食する。
	午後	高野山町石道ハイキング 植物標本作り	世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に登録されている「高野山町石道」を矢立から歩き、高野山内に入る。植物採集。
	宿泊	宿坊寺院	寺院に宿泊。高野山独特の「精進料理」を食する。自宅への手紙を書く。
3 日目	午前	植物標本作り 世界遺産学習	採集した植物を植物標本に仕上げる。世界遺産についてのお話。
	午後	タウンウォッチング	胡麻豆腐作りや和菓子作り、高野槇の出荷、位牌作り、数珠作りなど、高野山の地場産業をコースに分かれ見学する。
	宿泊	宿坊寺院	「ムササビ観察」や「天体観測」、「ナイトハイク」など、夜のプログラムを行います。
4 日目	午前	林業体験	枝打作業の見学や鋸を使って実際に間伐し、出材する。
	午後	匂い袋作り	野草を集め、煮出し、絹のハンカチを染め、匂い袋をつくる。
	宿泊	宿坊寺院	宿坊寺院の住職に「講話」を戴きます。
5 日目	午前	写経（宝来作り） 奥の院散策	般若心経を一字一字心をこめ写経。「奥の院」を散策。
	午後	帰路	

問合せ先

窓口名：日高川町産業振興課
住所：和歌山県日高川町土生 160
TEL：0738-22-9423 FAX：0738-22-1762
E-mail：sgi-yama-55@town.hidakagawa.lg.jp

アクセス

最寄りの都市：大阪市
集合場所：日高川ふれあいドーム
車の場合：120 分
鉄道の場合：-



受入概要

ゆめ倶楽部 2 1 は平成 14 年に旧中津村当時に設立。平成 19 年の町村合併に伴い現在の形となる。ゆめ倶楽部 2 1 は都市と農村との交流の中心組織としての役割を担っている。平成 20 年に子ども農山漁村交流プロジェクトに向けて農家民泊部会を設立した。

豊かな資源（耕地、森林、日高川、渓谷、星空等）を存分に活用した「ロハスな体験」を提供しており、都会では日常忘れ去られている人情ある温かい地元インストラクターとの対話を通じた「癒しの時間」を体感できる。

また、日高川町の地域経済を活性化を見込んだ事業展開を行っている。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

和歌山県のほぼ中央部、日高川の中流域に位置し、自然豊かな温暖地域です。東西約 3 5 km、南北約 1 0 kmにおよび、和歌山県の総面積の約 7 パーセントを占める。面積の 9 0 パーセントが森林であり、清流日高川に沿った豊かな自然環境に恵まれた町である。また、交通アクセスも良く大阪市内からバスで約 2 時間の距離（川辺 I C から 1 5 分）にあるのも優位な条件である。

気候は比較的温暖で、川辺アメダスによると気温は年平均温度が約 1 6 度前後で、降水量は年平均約 1 , 6 0 0 ミリとなっている。

歴史・文化的な特色

町の指定文化財（磨崖仏、巨樹等）、笑い祭、寒川祭、長子祭、紀道祭等の祭礼や伝統芸能、伝統行事は有名であり、その季節になると関西圏域から多数の観光客で賑わう。

農林水産業の特色

1、日高川町中津地域の農業の概要：中津地域では主に水稻やハッサクが栽培される。日高川の清流と寒暖の差が激しいという環境は米づくりに最適で、ふっくらと非常に良質な米が栽培されている。また近年、完熟ハッサクの栽培が盛んで、糖度が高いと都市圏でも高い人気を誇る。

2、日高川町中津地域の林業の概要：日高川町は紀州備長炭生産量日本一の町として有名。中津地域でも江戸時代より良質な木炭が生産され、現在では製炭技術の後継者育成にも力を注いでいる。また地元特産の備長炭とほろほろ鳥を使用して焼き鳥の長さの日本一を競うイベントも開催されている。

3、日高川町中津地域の漁業の概要：中津地域ではアユ漁が盛んで、漁期になると近畿圏内から多くの釣客が訪れる。夏場の日高川には友釣り楽しむ姿が多く見られ夏の風物詩となっている。



宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	公的宿泊施設
軒数	20	4
最大宿泊可能人数	100	280
料金	5000 円～	-

おすすめ体験学習プログラム

紀州備長炭の窯だし体験（所要時間 120 分・林業体験）

【期間】

通年

【内容】

150 年以上も前から産業として隆盛した紀州の伝統的な「備長炭」の窯だしを体験。

トムソーヤ冒険の森探索（所要時間 180 分・自然・環境体験）

【期間】

4 月上旬 ～ 11 月下旬まで

【内容】

ツリーハウスが頂上付近に設置されていて、森林ウォーク（自然観察、植物採取）などをしながら探検する。



草餅・柿餅づくり（所要時間 60 分・食の体験）

【期間】

通年

【内容】

ヨモギや柿を材料として、昔ながらの杵と臼で餅つきをする。



かずら工芸（所要時間 120 分・クラフト体験）

【期間】

通年

【内容】

山野に自生の「つづらかずら」を使い、大物、小物工芸品を手づくりし、観賞用・実用品として仕上げる。

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	○	○

おすすめのモデルプラン

プラン名	田舎体験～里山物語	実施時期	-
ねらい	春の野山の自然の息吹を体験させる。農家民泊では家族とのふれあいを通して協調性や自律性を養う。また体験活動の中では仲間と協力して課題を解決していく。そして何より、児童一人ひとりの学びたいという意欲を高め、自分から行動起こせるきっかけづくりに努め、普段の生活にこの体験を活かしていけるようにする。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1 日目	午前	現地までの移動	
	午後	オリエンテーション 山野草についての学習	入村式、挨拶、体験にあたっての諸注意。食べられる山野草と毒のある山野草の見分け方（学習）
	宿泊	公的宿泊施設（川辺テニス公園、きのくに中津荘、愛徳荘）	集団生活のルールを学ぶ。
2 日目	午前	山野草摘み体験（全体行動）	食べられる山野草と毒のある山野草の見分け（実践）
	午後	森林アドベンチャー（全体行動） 農家との対面式	トムソーヤ冒険の森を探索、植物の観察。初対面、挨拶
	宿泊	農家民泊、（必要に応じて公的宿泊施設）	農家での生活体験、料理のお手伝い。
3 日目	午前	農家での 1 日体験（班別行動）	農家での普段の生活を体験する。
	午後	農家での 1 日体験（班別行動）	農家での普段の生活を体験する。
	宿泊	農家民泊、（必要に応じて公的宿泊施設）	農家での生活体験、料理のお手伝い
4 日目	午前	タケノコ掘り体験	「竹は草か木か？」などの資料を使って学習。
	午後	竹林に入り伐採体験 竹細工体験	竹林の再生作業に携わる。伝統的な技術を体験
	宿泊	公的宿泊施設（川辺テニス公園、きのくに中津荘、愛徳荘）	集団生活のルールを学ぶ。
5 日目	午前	お別れ会	感想文の作成。農家との別れ、感謝の気持ちを表現
	午後	帰路につく	

和歌山県白浜町 (社) 南紀州交流公社

<http://minamikishu.com/>

問合せ先

窓口名：(社) 南紀州交流公社
住所：和歌山県白浜町安居 306-1
TEL：0739-53-0055 FAX：0739-53-0055
E-mail：minamikishu@samba.ocn.ne.jp

アクセス

最寄りの都市：和歌山市
集合場所：道の駅「海来館」(みらいかん)
車の場合：150 分
鉄道の場合：150 分



受入概要

平成 16 年 10 月に旧日置川町（現白浜町）の行政、個人や民間団体、農協・漁協などの農林漁業関係団体、商工会、企業など官民が一体となった「大好き日置川の会」を組織し、農林水産業や地場産業の「ほんまもん」の現場を実際に体験してもらう体験型観光に取り組んでいる。

現在は、60 種類の体験メニューを用意した「ほんまもん体験」や体験型観光で培った体験プログラムを取り入れた高等学校や中学校の修学旅行や教育旅行の誘致に積極的に取り組む。ありのままの暮らしや生き様を伝えることにより、生徒の視野を広げ、達成感や思いやりの心を育てると同時に、民泊受け入れにより、「大好き日置川の会」自身の交流、感動、地域活性を図っている。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

紀伊半島の南西部、和歌山県の南部に位置し、地域の約 90%を森林が占めている山間地域である。地域の中心部には清流日置川が流れ、毎年 6 月から 9 月にかけて「鮎釣り」が盛んで、海岸部では年間を通して「磯釣り」などが行われており、「山・川・海」という三つの自然環境が揃っている。

気候は太平洋を流れる黒潮の影響を受けて温暖で、「年平均気温 17℃」と年間を通して過ごしやすい地域で、山間部を除き雪が積もることはほとんどない。

日置川地域は、熊野枯木灘海岸県立自然公園、大塔日置川県立自然公園や日本の滝百選に選ばれた八草の滝など、海・山・川にわたる豊かな自然環境に恵まれている。

歴史・文化的な特色

世界遺産に登録された熊野古道大辺路の仏坂、富田坂に加え、熊野古道で唯一の渡し舟が運航している。中世時代に熊野水軍領主として紀伊や阿波に所領を持ち、活躍した安宅氏の城跡群がある。また、江戸時代に日本ではじめて天然痘ワクチンを実用化した小山肆成の生家跡もある。

農林水産業の特色

1. 白浜町日置川地域の農業の概要：国営農地開発事業で整備された 169ha の樹園地には、和歌山県特産の梅やミカンなどが耕作され、日置川の豊富な水の恵みは、流域の田畑を潤している。また、山間部の川添地域では、古くから茶が栽培され、8ha 程の零細な産地であるが、全国手揉み茶品評会で毎年上位入賞するなど、高級茶として取引されている。
2. 白浜町日置川地域の林業の概要：地域の約 90%を森林が占めており、そのほとんどに杉・檜が植林されている。また、江戸時代より良質の木炭として販売され製炭技術が和歌山県無形文化財に指定されている紀州備長炭の生産地でもある。
3. 白浜町日置川地域の漁業の概要：日置川では、鮎漁が盛んで鮎釣りの全国大会なども開催されている。また、眼前に広がる太平洋では、カツオのケンケン漁や、鯛・イカ・イサキ漁などが行われている。熊野枯木灘で捕れるイセエビは、身の締まりもよく、高級食材として京阪神などに出荷されている。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家民宿	公的宿泊施設
軒数	30	6	1
最大宿泊可能人数	120	160	60
料金	5500 円～	7500 円～	8000 円～

おすすめ体験学習プログラム

梅の作業体験（所要時間 180 分・農業体験）

【期間】

5月上旬～7月下旬まで

8月下旬～10月上旬まで

11月上旬～1月下旬まで

【内容】

5月上旬から7月下旬には梅の収穫・選別を、8月下旬から10月上旬には梅干し作り作業を、11月上旬から1月下旬は剪定作業をする。



南方熊楠記念館自然環境教室（所要時間 120 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

和歌山県が生んだ世界的な博物学者、粘菌の研究と自然保護運動などにも論理と精力的な実践活動で尽力した南方熊楠について学習する。



磯観察（所要時間 120 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

枯木灘を望む、村島磯で小魚やウニ、ナマコなど観察し、磯に棲む生物について学習します。また、潮の満ち干など自然環境を直に体感する。

紀州備長炭風鈴作り体験（所要時間 180 分・クラフト体験）

【期間】

通年

【内容】

和歌山県無形文化財である紀州備長炭を使った、綺麗な音色の風鈴を作る。

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
○	○	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	プラン1	実施時期
ねらい	児童が、日置川地域での海山川の多様な自然環境の中で体感し、物づくりの達成感を味わい、農林漁家民泊での家庭的な異世代交流、集団活動や規則正しい生活を行うことで、様々な状況・立場をわきまえた人間らしく判断して、行動していける“生きる力”を養うこと。	5月上旬～11月下旬まで

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	入村式	入村にあたってのオリエンテーション。
	午後	森林間伐体験	杉・檜の林に入り林業と森林の現状や間伐等の必要性を学ぶ。
	宿泊	民間宿泊施設（農家漁家が経営）	
2日目	午前	熊野古道散策	語り部と一緒に世界遺産の「熊野古道大辺路」を歴史や民話などを聞きながら歩く。
	午後	藍染め体験	江戸時代から続く紀州本藍で、自分だけの模様染め上げる。
	宿泊	民間宿泊施設（農家漁家が経営）	
3日目	午前	川エビ漁体験	テナガエビを網でとり、川の生物の生態系について学習。
	午後	カヌー体験	清流日置川をカヌー又はドラゴンボートで下り、川の文化や自然環境を学ぶ。
	宿泊	農林漁家民泊	
4日目	午前	ソーセージ作り体験	畜産農家にお邪魔してソーセージづくりを通し、畜産農家の生活と仕事を学ぶ。
	午後	備長炭風鈴作り体験	県無形文化財である紀州備長炭を使った風鈴を作る。
	宿泊	農林漁家民泊	
5日目	午前	野菜作り体験	季節の野菜の植え付け、収穫の作業を体験
	午後	お別れ式	受入農家等とお別れ会。